

子の福祉とは？

安全・安心と

心身の健康な発達を守ること

臨床心理士

酒井道子

# 離婚後の面会交流の可否

円満離婚

父、母それぞれが精神的に成熟している  
子どもが心身ともに健全に成長している

子どもの  
よりよい  
成長に資  
する

面会交流により親として協力して子どもの成長を見守れる

両親間の紛争を伴う離婚

父、母、子どもそれぞれが傷ついている

子どもの気持ちを無視した面会交流は  
子どもの傷を深める

慎重な検討が  
必要

# 子どもの健全な発達に必要なものは？

- 基本的安心感 基本的安全感  
子どもが感じる「守られている」という絶対的安心感
- 人への基本的信頼感  
人というのはよい人に違いないという信頼感
- 人への愛着形成  
自分を理解し愛情を注いでくれる特定の人への親密な情緒的絆

# 間主観性

間違い！



離婚に至るプロセスや離婚時にまだ小さかったから覚えていないはず。

子どもは生まれた直後から周囲の人の感じていることや意図を感じ取る能力がある。

家庭内の緊張した雰囲気や攻撃的な雰囲気、親の抑うつ状態などを敏感に感じ取り、子どもはそれに対応しようとして変にはしゃいだり、落ち込んだり親にまとわりついたりする。

# 離婚が子どもに与える影響 プラスの側面

## 虐待や強いストレス状況からの解放

虐待や強いストレス状況から逃れるための別居ができないと  
子どもの被害が拡大する

基本的安心感・安全感の欠如  
基本的信頼感の欠如  
愛着形成不全

子への暴力の激化、重大な怪我

隠蔽された性被害

精神的虐待による精神疾患の発症など

# 離婚にいたる両親の争いが子どもに与える影響 マイナスの側面 (数年～一生涯続くこともある)

## 身体的影響

成長障害  
心身症・摂食障害  
チック、吃音、夜尿、夜驚症  
睡眠障害など

## 心理社会的影響

発達のトラウマ障害  
愛着障害  
自傷行為、死にたい気持ち  
対人関係がうまく作れない  
不登校・ひきこもりなど

## 経済的影響

貧困など

子どもが表すサインは心の叫び

# 親の離婚による子どもへの影響はいつから始まるか

## 離婚に至るプロセスのなかで

両親の不和      ➡    夫婦喧嘩、暴力の目撃

家庭内の緊張

暴力を受ける

不適切な養育

安心・安全が守られない

心身の成長  
に影響

離婚やどちらの親と暮らすかについて子どもの  
気持ちを聞いてもらえない      ➡    大人への不信感

親の離婚による子どもへの影響はいつから始まるか

## 離婚後

環境の激変（転居、転校、友達を失うなど） ➡ 適応の問題

非同居親への思い（会いたい気持ち、会いたくない気持ち）

面会交流への葛藤

経済的な不安定さ ➡ 貧困や教育を受けられないなどの問題



# 強制的な面会交流の弊害

- 年齢に関係なく、子どもには子どもなりの意思や気持ちがある。
- それを聞いてもらうことなく、大人の都合で決められた面会交流は**子どもの自尊心を傷つける**。
- 自分を傷つけた親に会うことは**トラウマの再燃**の危険がある。
- 面会中に**再被害**にあう危険がある。
- 傷つけた親、無理に会わせようとする**親双方に不信感**を持つ。
- **人への信頼感が損なわれる**。
- 理解されないことへの怒りを**他人への暴力、自己破壊的行動、反社会的行動、身体表現性障害**などによってあらわす危険がある。

# 両親の離婚による傷つきから子どもを守るには

一律に面会させるのがよいという前提ではなく

- 子どもの健全な発達を守る、損なわないという視点を基本に考える
- 子どもの気持ちを聞く、子どもの声を尊重する
- 子どもからのサインを見逃さない

# 離婚後の面会交流についての提言

- 離婚時点で硬直的な判断をしない
- 子どもにその時の気持ちに正直でよいと伝える大人の存在が大切
- その気持ちを聞き取るシステムが必要
- 聞き取った子どもの気持ちを尊重する
- 子どもの成長を待つ姿勢も大切
- 子どもを健康に育てるためにどちらの親もカウンセリングが必要